

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則・本大会申し合わせ事項により行う。

靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長はいつでもシューズチェックする権限を持ち、参加者はその指示に従わなければならない。競技後シューズの違反が認められたときは、「失格扱い」となり、記録が取り消される場合がある。（スパイクピンのチェックは招集時に行う。）

競技用靴・靴底厚さについては別表を参照。

なお、「競技用靴に関する規定」については、2 部及び健康マラソンには適用しない。

2. 更衣について

①競技者の更衣用として、更衣室を男女別に各 1 室を開放する。

②更衣した荷物を置かないこと。

3. 練習について

①トラック内での練習は競技開始時刻の 30 分前（9 時 00 分）までとする。使用するレーンについては、競技役員の指示に従うこと。

②バックスタンド後方（東側）は競技終了まで使用できる。

③投てき種目の練習は危険をとまなうので、各種目とも競技開始前に、競技役員の指示により、投てき場内で行うこと。

4. 招集について

①招集場所は室内練習場とし、下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は、欠場として処理する。多種目や決勝に出場する場合、種目ごとラウンドごとに招集を受けること。

【トラック種目】 競技開始時刻の 30 分前開始、20 分前完了。

【フィールド種目】 競技開始時刻の 50 分前開始、40 分前完了。

・招集所からスタート地点、跳躍場、投てき場への移動は競技役員の指示に従い移動すること。

【リレー種目】 競技開始時間の 35 分前開始、20 分前完了。

・リレーオーダー用紙は招集完了時刻の 1 時間前までに招集所へ提出すること。

・招集は 4 人そろって受けること。多種目に出場している場合は {多種目同時出場届} を招集所に提出すること。

・ {リレーオーダー用紙} 「多種目同時出場届」は招集所で配布する。

②多種目を同時に兼ねて出場する競技者は、「多種目同時出場届」を招集所に提出すること。

③競技者は、プログラムに記載されたアスリートビブスで出場すること。変更はできない。

④欠場する競技者は欠場届を招集所に事前に提出すること。

5. 競技について

①トラック競技の出場者は、招集所で受け取った腰ナンバー標識を右腰に貼ること。

・スパッツなど腰番号がはがれやすい場合は、安全ピンで止めるなどはがれないようにすること。

②競技用具は原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、競技者は競技の前に検査を受けて承認され、かつ全競技者が使用できる場合は自分の用具の使用ができる。

(検査は競技開始 2 時間前から 1 時間前までに用器具庫で検査を受けること)

③走高跳のバーの上げ方

男子 練：任意の高さ 1m60-1m65-1m70-1m75-1m80-1m85-1m90-1m93 あと 3cm ずつ。

女子 練：任意の高さ 1m30-1m35-1m40-1m45-1m50-1m55-1m60-1m63 あと 3cm ずつ。

練習の高さは、現地で決定する。

④三段跳の踏切板の位置は当日、跳躍競技審判長が決定する。

⑤ 5 0 0 0 m と健康マラソンの競技打ち切りについて

1 部一般は 1 9 分を過ぎて新たな周回に入ることができない。

1 部壮年、2 部一般、2 部壮年、オープン男子、オープン女子は 2 4 分を過ぎて新たな周回に入ることができない。

健康マラソンは 3 5 分で競技を打ち切る。

⑥オープン参加について

トラック種目はすべてタイムレースとする。走幅跳、三段跳、投てき種目は 3 回の試技とする。

6. 表彰について

①各種目、1 位～3 位までの入賞者に賞品を授与する。(1・2 部に限る。) 成績発表後直ちにエントランスへ賞品を取りにくること。

②団体対抗は男子 1 部、2 部とし、それぞれ 6 位までの入賞者の得点合計により総合順位を決定する。

総合得点が同点の場合は、上位入賞者の多い団体を上位とする。

団体対抗各種目入賞者の得点は 1 位 7 点、2 位 5 点、3 位 4 点、4 位 3 点、5 位 2 点、6 位 1 点とする。

③団体総合 1 位～3 位までに賞状及び優勝楯を授与する。

7. 免責事項について

①競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。

②競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

8. その他

①競技者の入退場は正面とする。

②スタンドは解放する(開門時間は 8 時)

③記録は、電光掲示板および当日に配布するプログラムに w e b の URL (QR コードも表記) で確認すること。記録を貼り出すボードは設置しない。なお、記録の複写や転写、リンク貼り付けは禁止する。

④トラック競技でフィニッシュした競技者は競技本部前を通らないこと。

⑤横断幕、のぼりの設置は禁止する。

⑥トラック及びフィールドの助走路はすべて全天候舗装のためスパイクピンの長さは 9 mm 以内。
(走高跳とやり投は 12 mm)

- ⑦アスリートビブスはプログラム掲載のナンバーで出場すること。アスリートビブスがない場合、番号布を販売（200 円）するので、各自で作成すること。
- サイズは横 20cm 以内×縦 16cm 以内 文字の高さ 6cm～10cm 文字幅は遠くからでも判読可能なように 1 cm 程度の太さで記載のこと。
- ⑧健康マラソンでアスリートビブスが無い方（「実」と表記）はビブスを貸与するのでフィニッシュ後必ず返納すること。
- ⑨健康マラソンの出場者は、招集場所で完走証を受け取ること。
- （記録は、フィニッシュ地点設置の時計でタイムを確認して各自で記載すること）
- ⑩通信機器（携帯電話等）を、競技場所（招集所を含む）に持込んではならない。
- ⑪ごみ箱は設置しないため、ごみ等は必ず持ち帰ること。
- ⑫持ち物は、各自で責任を持って管理すること。

【別表】

競技用靴・靴底厚さ表

種 目	靴底最大の厚さ	要 件 ・ 備 考
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mm スパイクシューズ または ノンスパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm	全跳躍種目で、本規定 10.3 および 10.4 に記載のとおり靴の前の 部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えて はならない。（前足の中心は、靴の内部の長さの 75%にある靴の 中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの 12%にある靴の中心点。